

地域とのコラボレーションによる学校づくり

おい町立名田庄中学校

取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	11回のべ11日

(2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー	9人
授業ボランティア	4人
登下校支援ボランティア	20人
その他	0人

(3) 特色ある活動

テーマ：キャリア教育

『地域の人々とつながったり体験活動をしたりすることによって、ふるさとを愛する生徒を育成する』

具体的活動内容

① 職場体験活動

1年生(1日)、2年生(3日間)がキャリア教育の一環として、職場体験(訪問)を行った。名田庄地域や小浜市を中心に希望する職業を体験した。地域の人々も協力的で中学生が取り組める内容を考え、適切なアドバイスをしてもらっている。



(2年生職場体験 H23.11月8日～10日)

② 学校行事・情報公開

体育祭や文化祭、マラソン大会などの学校行事、授業参観日などを学校公開日とし、生徒の活動を広く知ってもらうようにしている。体育祭、文化祭は多くの保護者の参加があり、親子が一体となって盛り上がっている。地域・学校協議会委員の方々にも参観していただき、学校運営について貴重な意見をいただいている。また、ホームページを毎日更新し、日々の学校教育活動をリアルタイムで公開している。



(体育祭
障がいのある方々と
H23.9月10日)

③ 地域の方との交流(魚さばき体験、高齢者や障がいのある方々との交流)



(1年魚さばき教室 H23.12月7日)

大島漁協の女性部の方から新鮮な鮓や鰯を提供していただき、そのさばき方や調理の方法を教えてもらった。家であまり経験しないことであり苦戦している生徒もいたが、丁寧に指導してもらい最後には出来映えをほめてもらっている生徒もたくさんいた。包丁の使い方や魚のにおいの強さを知るなど貴重な体験ができた。また、地域の福祉施設に行って高齢者の方々と交流したり、Cネットの方々と体育祭に招待し一緒に体を動かしたりする活動も行った。

(4) 成果と課題

(ア) 成果について

職場体験学習等で生徒が地域に出て行き活動したり、地域の方々に学校へ来ていただき指導していただいたりすることで、体験的活動を通して地域のことを学ぶことができた。学年が上がるにつれて、郷土愛を深める生徒が増えている。また、学校評価を実施し、取り組みを見直すとともに地域・学校協議会の意見等をもとに改善することができた。

(イ) 課題及び次年度に向けて

学校評価では、『学校は、学校経営改善のために、保護者や地域の意見、考えを取り入れていますか』という項目に対して保護者から80%弱の評価をいただいたが、まだ十分とは言えない。協議会委員からは、学校教育活動全般について、学校からの一方通行にならないような広報活動と家庭・地域からの働きかけを活発にするための取り組みに励む必要がある、という意見が出された。次年度以降、保護者や地域の方々と情報を共有するとともに、双方向のコミュニケーションづくりに取り組んでいかなければならない。